

令和4年度第2回日高圏域地域医療構想調整会議議事録

令和5年3月9日(木) 18:15～19:00

Web 開催 (DOWKAI)

(司 会)

本日はご多忙のところお集まりいただきありがとうございます。

これより、「日高圏域地域医療構想調整会議」を開催します。

開催に先立ちまして、本調整会議の小松議長よりご挨拶いただきたいと思ひます。

議長宜しく願ひいたします。

(議 長)

本日は、年度末、また週半ば過ぎの、皆さんお忙しい中、本会議にお集まりいただきましてありがとうございます。

この日高圏域地域医療構想調整会議というのは、日高管内におけます各医療機関の中で、色々変更や新しい意見等が出た場合に、本来であれば皆さん一堂に会し、意見交換をさせていただくものなのですが、まだ新型コロナの状況の中で、web という形式を採らせていただいております。

本日は報告事項がいくつかありますけれども、それぞれの項目につきまして、皆様から忌憚のない御意見をいただければ、この会議が充実したものになるかと思ひますので、皆さん宜しく願ひいたします。

(司 会)

また、当会議事務局より、日高振興局保健環境部長の佐久間より一言、皆様へご挨拶させていただきます。

(佐久間)

日高振興局保健環境部長、浦河と静内の保健所長の佐久間です。

本日の開催にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

皆様におかれましては、日頃から地域医療構想の実現に向けて格別のご協力をいただき、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

北海道地域医療構想は、進行する人口減少と高齢化に対応するためバランスのとれた医療提供体制の構築を目指しておりますが、この日高圏域におきましては、現状として医療提供体制を支える医師をはじめとする医療従事者及び介護従事者の不足といった深刻な問題を抱えております。

また、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが 5月8日から5類になることに伴い、医療提供体制においても大きな変動が、懸念されるところです。

本日の会議におきましては、地域医療構想の推進に関わる各議題を提案・報告させていただくこととなっておりますので委員の皆様の忌憚ない率直なご意見をいただければと思います。

本日の会議が、地域医療構想の実現に向けてより前進していくことを祈念申し上げ、開会の挨拶といたします。

【議題1「日高富川ファミリークリニックの新規開設について」】

(司 会)

まず、議題1「日高富川ファミリークリニックの新規開設について」に関し、静内保健所よりご説明いたします。

(静内保健所 下川企画主幹)

「日高富川ファミリークリニックの新規開設について」の報告をさせていただきます。

日高圏域の課題の一つとして、外来医療機能の拡充という課題がありますが、この圏域は医師不足が深刻化し、専門医・常勤医の不在による診療体制の縮小や、医師の高齢化などによって、医療提供体制の維持が困難な状況にあるところもあります。地域医療を支えるためには地域の実情に応じた外来機能医療の拡充が求められているところです。

日高富川地区の方では沙流都外来診療所の閉院から6年が経過しており、内科系、特に消化器内科に関しては苫小牧などの医療機関の方に流出している状況となっています。地元では受診できない不便さを感じながら生活している状況ですが、この度内科・消化器内科・小児科を標榜する「日高富川ファミリークリニック」が令和5年6月の開設に向けて現在作業が進められており、今後、外来医療機能の拡充に繋がっていただければと思います。

以上大変雑駁ではありますが当所からの報告とさせていただきます。

(議 長) ありがとうございます。只今、静内保健所より「日高富川ファミリークリニックの新規開設について」のご説明がありましたが、委員の皆さん方、ご意見・ご質問等ありますか。

(※委員意見等なし)

(議 長)

日高東部につきましては、医療の充実というのは求められている中で、新規に開設して戴けるというのは、非常に良いことかと思っておりますので。皆さんよろしいですか。

(※委員異議等なし)

(議 長)

はい、ありがとうございます。それでは司会の方、よろしく申し上げます。

【議題2「新ひだか町新公立病院改革プラン（経営強化プラン）の概要とパブリックコメントの実施結果について】

(司 会)

続きまして、議題2「新ひだか町新公立病院改革プラン（経営強化プラン）の概要とパブリックコメントの実施結果について」に関しご説明します。

「新ひだか町新公立病院改革プラン（経営強化プラン）の概要説明とプランを策定するうえで、町民説明会、影響が大きい三石地区の地域説明会、パブリックコメントを実施しており、いただいた質問、意見等の内容について報告し、情報共有を図るものです。」ということで情報をご提供戴いたものです。

現在改革プランの策定過程でパブコメの作業段階まで入っていて、住民の反応について情報提供いただいた訳ですが、詳細・補足等について、新ひだか町さん、ご発言お願いできますでしょうか。

(新ひだか町 及川保健福祉部医療・介護対策室長)

新ひだか町保健福祉部医療・介護対策室長の及川と申します、宜しくお願いいたします。

お手元に資料の方をお配りしていると思うのですが、新ひだか町公立病院改革プラン（経営強化プラン）の概要の方で少し補足させて戴きます。総務省からの経営強化プランが令和5年度までの策定を目処にということで、公立病院であればどこの自治体さんもこれを今作成中なのかなと思っておりますが、当町も強化プラン策定にあたって、大まかにお話をさせていただくと、三石国保病院を無床化として、在宅支援診療所機能をメインに、外来の堅持と在宅支援の病院にしていこうと。その転換時期は強化プランの期間が令和5～9年度までのプランになっておりますので、令和9年の計画期間中を目途に転換していきたいという提案をさせていただいています。

それに伴って、町立静内病院を、後方支援病院としての機能をしっかり保ち、三石地区の方を含め、介護施設等入所者の急性増悪また在宅患者の容態の変化に応じ、しっかり医療を機能させていこうという内容が、ざっくりとした全般の計画概要となっています。

ただ、パブリックコメントを実施し、結果については資料裏面に記載のとおりで、詳しい説明は省略しますが、やはり地域から病床をなくすという問題を提起させていただいておりますので、なかなか直ぐに受け入れるということには、地域の意見としてはなっていないというのが現状でございます。議会等も含めて住民へも丁寧に説明をさせていただきながら、今回素案として出させていただいたプランが進捗するような取組を当町としては進めたいと考えておりますので宜しくお願いいたします。説明は以上になります。

(議 長)

ありがとうございました。今、新ひだか町様の方から「新ひだか町新公立病院改革プランの概要とパブリックコメントの実施結果」についてご説明がありました。委員の皆様、何か確認しておきたいことや、御意見・ご質問等ありますでしょうか。

(※委員意見等なし)

(議 長)

新ひだか町としては、お話しできる範囲でいいのですが、今後いつぐらいにどのようなものをと、イメージというか作業行程のようなものがありましたらご説明戴けますでしょうか。

(新ひだか町 及川保健福祉部医療・介護対策室長)

今まで在宅医療を提供していなかった地域に、在宅医療を提供するという部分では、日高圏域全体にかかる影響も少なからずあると思いますし、また、今まであった病床を無くすということも影響が出てくると思っています。先ほどの説明でも触れましたが、本計画の目標値としては令和5年度～令和9年度の5年間の計画ということになっております。早ければ令和8年度中の無床化、病床をダウンサイジングして無床化として、新たに診療所を新築しての事業展開ということを考えております。よって今後在宅に向けた準備や各医療機関様との調整を図らせていただいて、令和8年若しくは令和9年度中の無床化・在宅支援診療所化というところを目指していきたいという計画となっております。

(議 長)

ありがとうございました。ほか、委員の皆様、何かございますでしょうか？

(司 会)

本プランは確か策定は時限式で令和4年若しくは令和5年までに策定を要すると認識していたのですが、管内では平取国保病院さんと門別国保病院さんも本プランの策定対象であったと思いますが、現在の両院のプラン策定の進捗状況はどのようになっていますか。

(平取国保病院 白戸事務長)

平取国保病院事務長の白戸と申します。宜しく願いいたします。経営強化プランなのですが令和4年と令和5年の間で策定を要するという事は重々承知しておりまして、一応当院としては素案のようなものはありまして、町議会へも1～2回程度説明を行った状況です。正直コロナ対応に追われ今年度中の策定というのは難しかったので、令和5年度の中で

策定をしていく予定となっております。

(※門別国保病院は回線不調により通信が繋がらず。)

(※他、委員意見等なし)

(議 長)

それでは次の議題に移らせていただきます。

【議題3 「日高德洲会病院の移転新築について」】

(司 会)

続きまして、議題3 「日高德洲会病院の移転新築について」に関しご説明します。

「2025年秋の開院予定で移転新築の準備を進めております。現在、基本設計の段階です。今の病床は199床ですが、新病院では250床を計画しております。具体的なものは現時点では決まっておりません。」ということで情報をご提供いただいたものです。

ただ今読み上げたとおり、現時点では不確定・流動的な部分が多いものとは思いますが、お話しできる範囲で結構ですので、追加・補足して差し支えない情報がありましたら、徳洲会病院様、お願いできますでしょうか。

(日高德洲会病院 永井事務長)

日高德洲会病院事務長の永井です。いつも大変お世話になっております。

当院、移転新築をいたします。現院も30年以上が経過しかなり老朽化も激しいものから、この度の事となりました。

まず建設地ですが現在の当院から約1キロ圏内、住所は新ひだか町静内高砂町です。敷地面積は34,831㎡。移転後の現病院の活用に関しては未定です。病院のイメージ図は配布資料(1-4)のような図となっております。曲線的な斬新な建物となりますが、建築会社は京都に本社のあるナイトウ建築事務所に依頼しました。

今後のスケジュールですが今月末までに基本計画を終え、4月から実施計画に入る。今年の10月から施工業者を選定いたします。2024年1月から建設工事を開始し、2025年秋に開院の予定をしております。

構造に関しては、耐震構造6階建て、現院の1.5倍の大きさになります。有形病床ですが199床+将来病床で約250床。急性期病床60床の内HCU12床、他48床は全て個室とします。診療科に関しては現時点では増やしたいとは思っておりますが調整中の段階です。他、院内に老健または介護医療院を設置したいと考えています。1階にコミュニティモールを造り、資料のイメージ図を見ていただくとわかりやすいですが、コミュニティモールの前にコミュニティガーデンを造り、またモール内に「みんなのホール」を造り町民の方に使っていただくようなホールを作りたいと思っております。

病気以外でも町民の方々が気軽に来ていただけるような病院施設としたいと思っていま

す。現在の所こちらからお話しできるのは以上となっております。宜しく願いいたします。

(議 長)

ありがとうございました。今、日高徳州会病院様から新病院に関するご説明がありました。委員の皆様、何か確認しておきたいことや、御意見・ご質問等ございますか。

(平取国保病院 白戸事務長)

現在日高徳州会病院さんでは、現在透析用のベッドもあると思うのですが、まだ明確に決まっていっていないとは思いますが、透析の継続やベッド数の今後の見込みについて、解る範囲で教えていただけますか。

(日高徳州会病院 永井事務長)

透析に関しては新病院移転後も当然のことながら続けていきたいと思っています。ベッド数等に関しては現在調整中ですが、設計上、かなり大きめの透析室を設けようと思っています。詳細については現在検討中といったところです。

(議 長)

ありがとうございました。ほか、委員の皆様、何かございますか。

(※他、委員意見等なし)

(議 長)

日高管内、新ひだか町に新しい医療機関が、いろいろな用途に対応して、しかも災害にも対応できているというものが新しくできるというのは、日高管内にとっても非常に喜ばしいことと思っております。皆さんよろしいでしょうか。

(※委員異議等なし)

(議 長)

はい、ありがとうございます。それでは司会の方、よろしく申し上げます。

【意見交換等】

(司 会)

議題については以上で終了しましたので、ここからは連絡事項や自由な意見交換の場に移りたいと思います。ご質問や御意見等、忌憚ない視点でいただければと思います。

(議 長)

それではご質問・ご意見等お受けしたいと思います。本日まで参加いただいている方々から何かあればと思います。意見のある方は挙手をいただければ御指名させていただきます。

(町立静内病院 渡辺事務長)

町立静内病院 事務長の渡辺と申します。

報告事項なのですが、当院本年4月1日を予定として病床機能の転換を予定しています。

地域包括ケア病床(慢性期)について現行12床のところ、8床増床し20床としたいと考えています。既に20床とするにあたっての要件についてはクリアしておりますので、今後手続きを進めて4月1日よりスタートということとしたいと思いますので、以上についてご報告いたします。宜しく願いいたします。

(議 長)

はい、ありがとうございます。今の報告につきましてはよろしいでしょうか。

(※委員意見等なし)

(※ここからは議長より参加委員へ順次、自由発言を要請)

(浦河赤十字病院 大柏院長)

浦河赤十字病院の大柏です。時々、小松先生の方には当院の内科状況をお伝えしておりますけれども、当院の内科医が減少しまして、昨年まで5～6名いたのが、現在3月は2名まで減少しております。現在60代の副院長と50代のドクターの2名。今月は旭川赤十字から外来応援に来ていただいております。4月には1名北海道から1年間の常勤ということに来ていただき、また同じく4月には北見日赤から外来の応援、5月以降は本州から9月頃まで応援要員を1名いただくことになっています。当院も何とか、内科機能を維持・安定化させるために必死となっているのですけれども、もしも内科について、どこも常勤医確保が大変だと思いますけれども、候補のような方がいらっしゃいましたらお声がけをいただければと思っております。

また、医療とは少し別の話になるのですけれども、当院、看護専門学校も持っております。

日高及びその他の地域からも入学してもらっているのですが、それもかなりここ何年かは減少しております、かなり厳しい状況になっております。大学指向や都市部指向の学生さんも強いと思うのですけれども、もし希望者がいるようなことであれば、そちらも併せてお願いできればと思います。

(石井病院 田端院長)

(浦河赤十字病院と) 同じように医師確保は厳しい状況です。なかなか若い医師が手を挙げてくれないですし、都市部でもクリニック指向が強くと、有症病院となると梨の礫とは言い過ぎかもしれませんが、そんな状況です。

(日高歯科医師会 谷本会長代理)

歯科の方も皆さんのお話を聞いているとスタッフ不足が深刻な状況で、僕らの方も今、歯科医師会の方で対策は練っているところなのですが、最近ですと、富川地区の歯科医が一名、メイプル歯科しかないものですから、行政健診、1歳半と3歳児健診とか学校健診、小学校中学校の検診がメイプル歯科の院長からお断りの連絡があっってしまった。昨年度は何とか山口日高歯科医師会長の息子さんが富川に行っていていただいて対応できたのですが、前回の会議(説明会)の時もお話しさせてもらったのですが、各町の歯科医師の数もどんどん減ってきている段階で、どこもそうなのでなかなか直ぐに結果が出ないと思いますが、その辺は何とか、えりも町から日高町まで僕らも含めて色々手助けしながら健診のことはなるべく町民の皆様にはご迷惑をかけないようにはしていきたいと思っておりますので、何かありましたらご協力を宜しくお願いいたします。

あと、富川地区の歯科が現在一軒とお話ししたのですが、現在平取で開業されているアワノ先生の息子さんが富川地区で開業する方向で現在話が進んでいるそうなので、若い先生なので、長く貢献していただければと思いますので、開業が決まりましたらまたご報告させていただきます。以上です。

(えりも町役場 橋本保健福祉課長)

コロナ関連の話になるのですが、昨年から年末年始にかけて特別養護老人ホーム内におけるクラスターが残念ながら発生してしまい、なかなか厳しい状況が続いていました。

当時、これはどうにもしようのないことなのですが、浦河日赤さんと同時期に厳しい状況を迎えていたこともあり、特養内部でのクラスターに対する対応も、施設の中でフォローせざるを得なかったというところがなかなか厳しかった。残念ながら亡くなってしまった方もおりますので、入院したとして確実に命が長らえたかどうかはともかくというところもあるのですが、やはり施設で体調がすぐれない人が多数となる部分があるので、そのような状況の中で感染症をフォローしていくというのは、施設の中で最大限頑張ったとしても、出来ることには限界がある。陰圧も不可能なので、最大限のゾーニングを行ったとしても、入所者・職員を問わず感染拡大のリスクは高まるのは仕方が無いことなのかと。

コロナの分類が今後5類に下がっていくが、当町の国保診療所では入院フォローが出来ないこともあり、特養で病院の介助等に携わっている職員にとっては相当厳しい状況だったのではないかと考えています。

これは今起こっている状況、また過去起こってきたことというのは管内全ての類似した施設については全て同じような状況が起こっているのかなという感じはするのですけれど

も、次またこのような状況が続くというようなことになると非常に大変だということを身につまされたというふうに私共としては考えております。以上です。

(様似町、新冠町は音声回線不調により発言ならず。)

(えりも町役場 橋本保健福祉課長)

もう一点だけ、去年の9月に感染状況の把握、それから公表の仕方が変わって以降特にそのようなのですが、やはりどういうふうに検査をすればよいのかということについての問い合わせが、役場の保健福祉課ではなく国保診療所に集中しており、発熱外来も予約の電話が殺到することが続いていて、かなり日常的な業務負担が大きかったと聞いております。

加えて無料検査について、当町の調剤薬局が北海道の指定を受けて行っているということで、薬局へも問い合わせが殺到する事態になった。休業日も転送電話で職員の携帯にかかってくるという事が起こり、相当な負担だったのではないかと思います。

これについて全般的に町として対策を取ろうとして、新聞折り込みやチラシを作成し医療機関や官公署の窓口等にも置くなど対策を講じてきたが、北海道も含め周知広報には工夫を要するというふうな教訓にはなったのではないかと思うので、そのあたりは考える余地があるのかなと思うところです。

(北海道薬剤師会日高支部 中村支部長)

薬剤師会の中村です。今の無料検査についてなのですが、このところ北海道 Love 割というものが始まりまして、陰性証明が必要な方が多く見られるようになってきて、検査の依頼が増えている状況ですので、北海道のホームページにはリストが載っております。

あと、ただの検査キットの販売の方は、北海道薬剤師会のホームページにて営業時間内に対応可能な薬局、土日対応可能な薬局、24時間対応可能な薬局のリストが載っているので、もしお問い合わせがあった場合には、北海道薬剤師会のホームページを見ていただくか、無料検査に関しては道のホームページの方でご確認いただくようお願いいたします。宜しくお願いいたします。

(議 長)

ありがとうございました。ほか、委員の皆様、何かございますか。

無いようですので、司会の方に戻させていただきます、よろしく申し上げます。

(司 会)

最後に事務局より2件 アナウンスさせていただきます。

・現在の本会議委員の任期が今年度をもちまして終了しますので、改めて更新の委嘱の依頼をさせていただきます。なお、新年度にかかり役員交代等がございましたら、情報提供を

お願いします。

・令和4年実績の地域医療構想推進シートの作成ですが、次年度の第1回目の調整会議で承認協議に諮れるよう、逆算して更新作業に取組みたいと思っております。

更新作業の際には例年事で恐れ入りますが情報提供等、ご協力をお願いいたします。

それでは、以上をもちまして、調整会議を終了させていただきます。

本日はご多忙のところ参加していただき、また、貴重なご意見・情報も戴きありがとうございます。ありがとうございました。

途中回線接続の不具合等のアクシデントがありましたが、反省課題とさせていただきまして今後の改善につなげていきたいと思っております。

今後とも地域医療構想の実現に向けた取組について、ご理解・ご協力をいただきますようお願いいたします。本日はありがとうございました。

(- 終了 -)